

Cisco TelePresence DX80 かんたんセットアップ ガイド

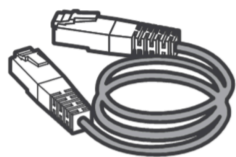


このたびは、 Cisco TelePresence DX80 をご利用いただきまして、
誠にありがとうございます。

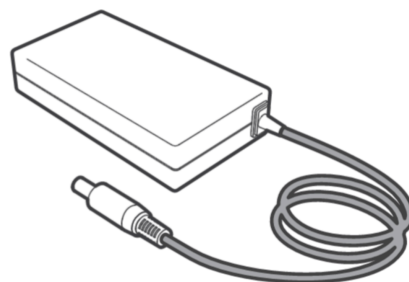
1 事前準備

1.1 梱包物の確認と用意するもの

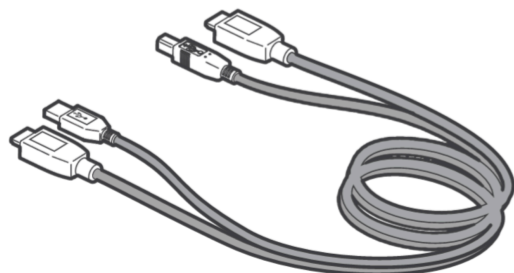
Cisco TelePresence DX80 には、本体の他に以下の付属品が含まれています。
梱包物は予告なく変更されることがあります。



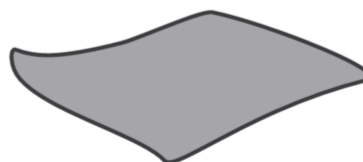
LAN ケーブル (3m)



電源アダプタ



HDMI ケーブル(2m)



クリーニングクロス



電源ケーブル

このほかに、必要に応じて以下のものをご用意ください。

- VESA スクリーン マウントキット (オプション)
- HDMI – (mini) Display port 変換コネクタ

1.2 設定に必要な情報

ネットワーク担当者と調整し、以下の環境情報を収集します。本ドキュメントではソフトウェア CE8.2 で導入された静的 IP アドレス、IP アドレスによる発信を前提に設定します。Cisco Video Communication System (Cisco VCS) または Cisco Unified Communications Manager (Cisco Unified CM) での展開は、本ドキュメントの対象外になります。

ネットワークの情報

	DX80	設定用 PC
IP アドレス		
サブネット マスク		
デフォルト ゲートウェイ		
DNS サーバ (オプション)		
NTP サーバ		

設定用 PC は DX80 本体の IP アドレス設定後にブラウザを通じてアクセスできるように DHCP または静的 IP によるネットワーク接続が必要です。

次に、端末に設定する項目を確認します。

システムおよび電話帳設定のための情報

	DX80
システム名	例：会議室名
管理者パスワード	
電話帳	対向の端末のシステム名と IP アドレス情報

Memo:システム名は通話時に相手端末に表示される「表示名」として利用します。

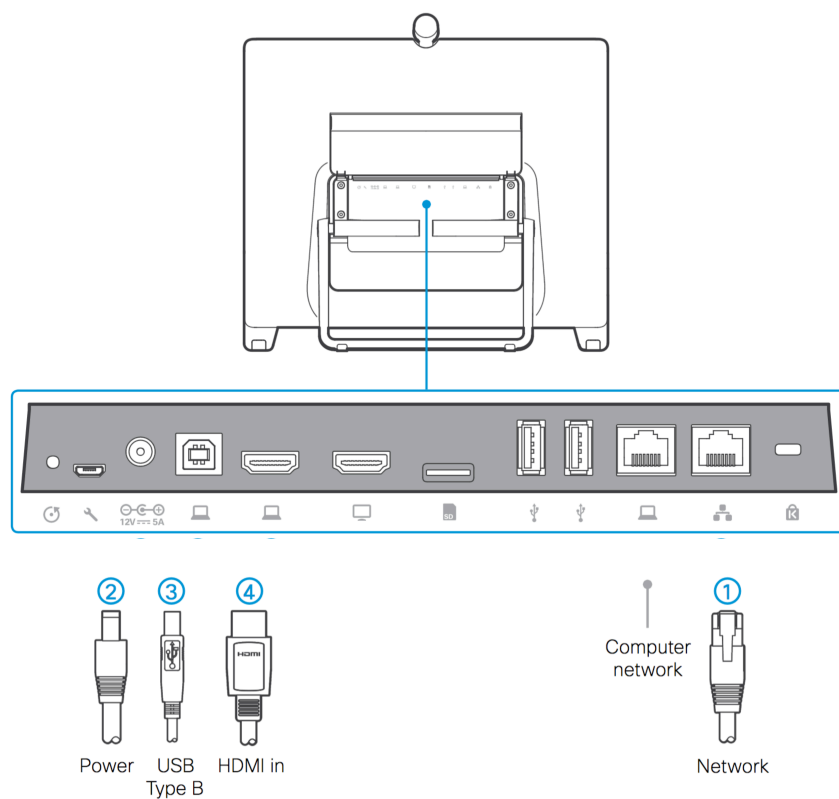
2 設置

2.1 開梱

梱包を開封します。他ケーブル類が上部に、本体が下部に梱包されています。

2.2 ケーブルの接続

各種機器とケーブルを接続します。



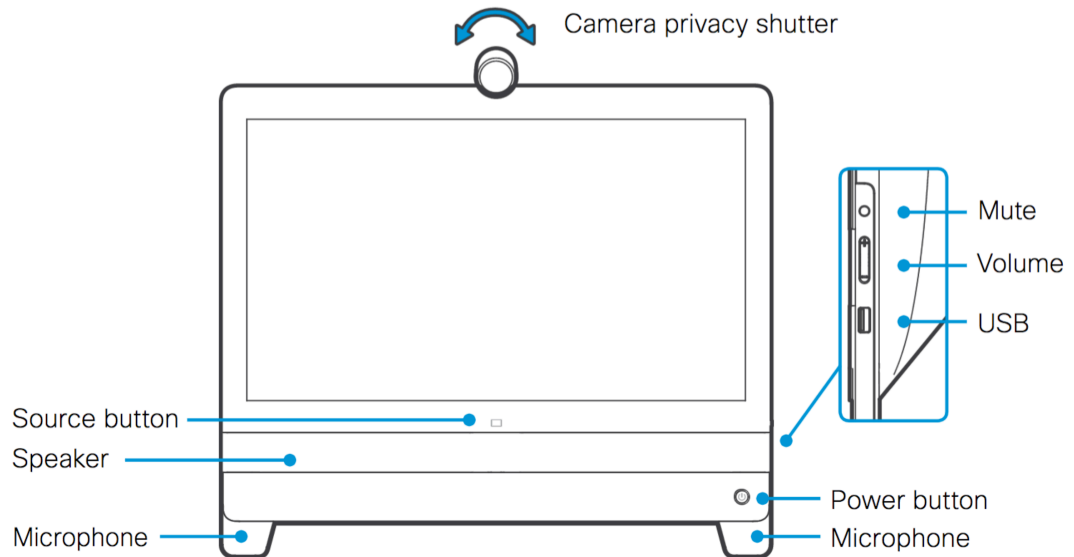
1	LAN ケーブルをスイッチに接続します。
2	電源アダプタを接続します。
3	必要に応じて USB Type B ケーブルを接続します。
4	必要に応じて PC からの HDMI 入力ケーブルを接続します。

Memo: Computer network は PC への有線 LAN 接続が必要な時に利用します。

注意: USB Type B での USB 接続機能は CE8.2 では利用できません。

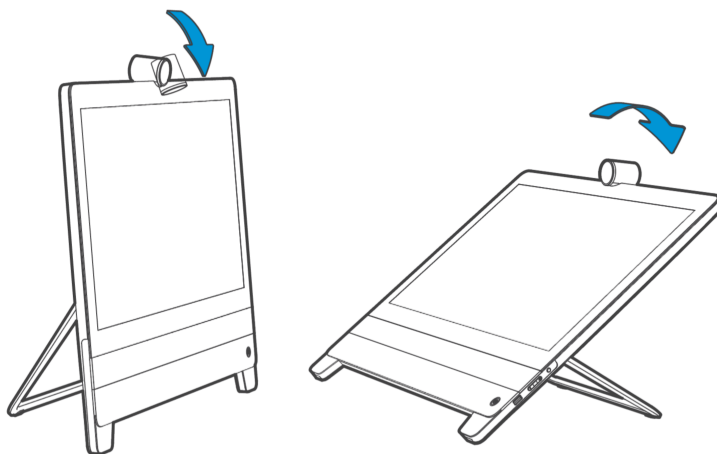
2.3 システムの起動

電源ボタンを押し、DX80 を起動します。LED が点灯します。システムが起動するとシスコ ロゴが表示されます。



2.4 カメラの調整

カメラのシャッターを開きます。また、角度を調整します。

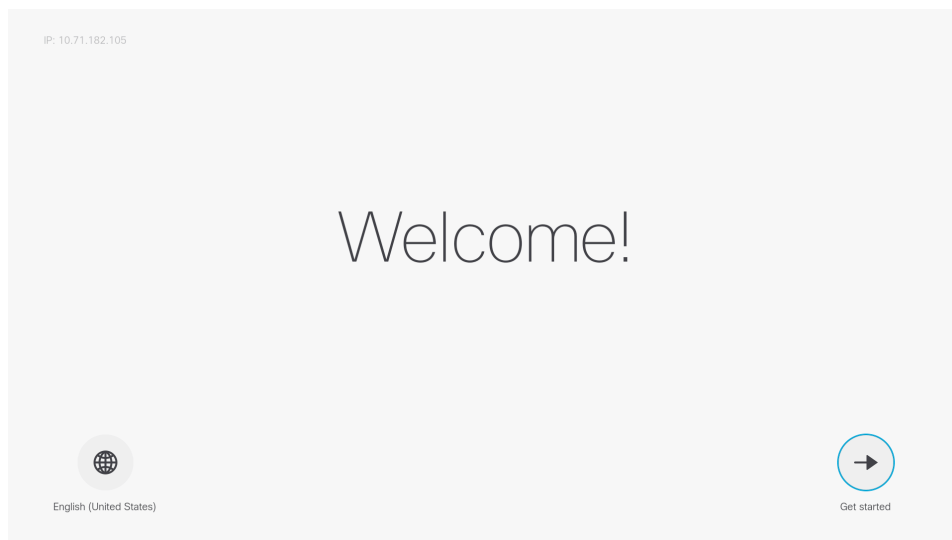


3 セットアップ ウィザードによる初期設定

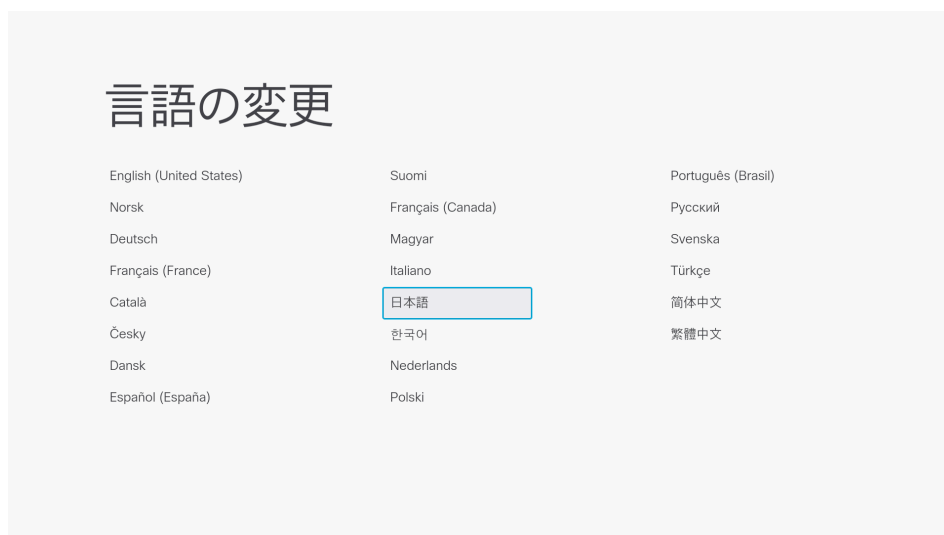
3.1 表示言語の設定

セットアップ ウィザードがモニタに表示されます。モニタをタップすることで項目を選択できます。表示言語を日本語に変更します。英語、日本語を含む 22 ヶ国語から表示言語を選ぶことができます。

1. [English(United States)]を選択



2. [日本語]を選択



3. 日本語表示に切り替わったことを確認し、[開始]を選択



3.2 DHCP サーバがない場合の IP アドレスの設定

DHCP サーバがない場合、「ネットワークに接続されていません」と表示され、IP アドレスの設定モードに移行します。

1. [設定]を選択



2. [デフォルト設定]およびDHCP自動セットアップのチェックを外し、IP アドレス、ゲートウェイ、サブネット マスクを入力

ネットワーク設定

デフォルト設定(推奨)

IPv4 DNS VLAN

DHCP自動セットアップ(推奨)

IPアドレス *

ゲートウェイ *

サブネットマスク *

→
適用

3. 必要に応じて、[DNS サーバ]を入力

ネットワーク設定

デフォルト設定(推奨)

IPv4 DNS VLAN

DNSサーバ1

DNSサーバ2

DNSサーバ3

→
適用

Memo: CMR Cloud に直接接続する際に必須となります。

3.3 電話サービスの設定

1. [他のサービス]を選択

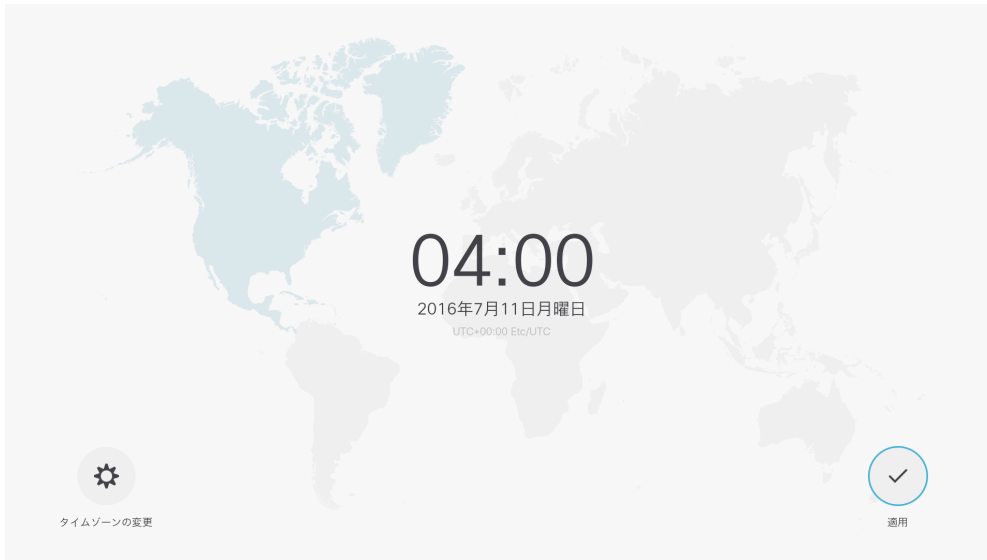


2. [後でアクティブ化]を選択



3.4 時刻の設定

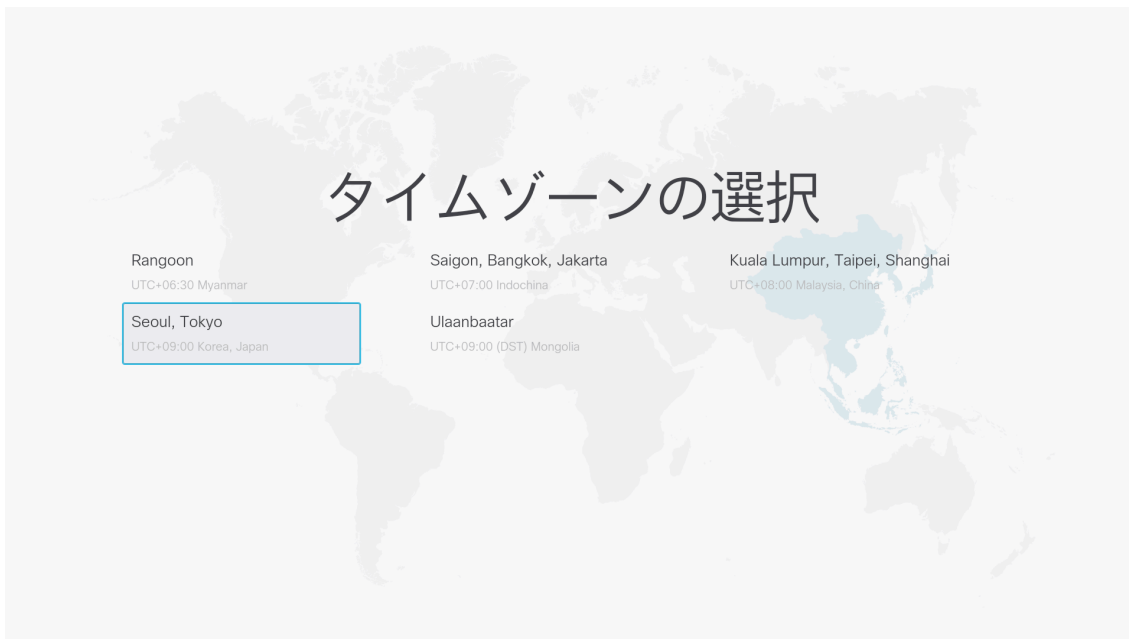
1. [タイムゾーンの変更]を選択



2. [東/東南アジア]を選択



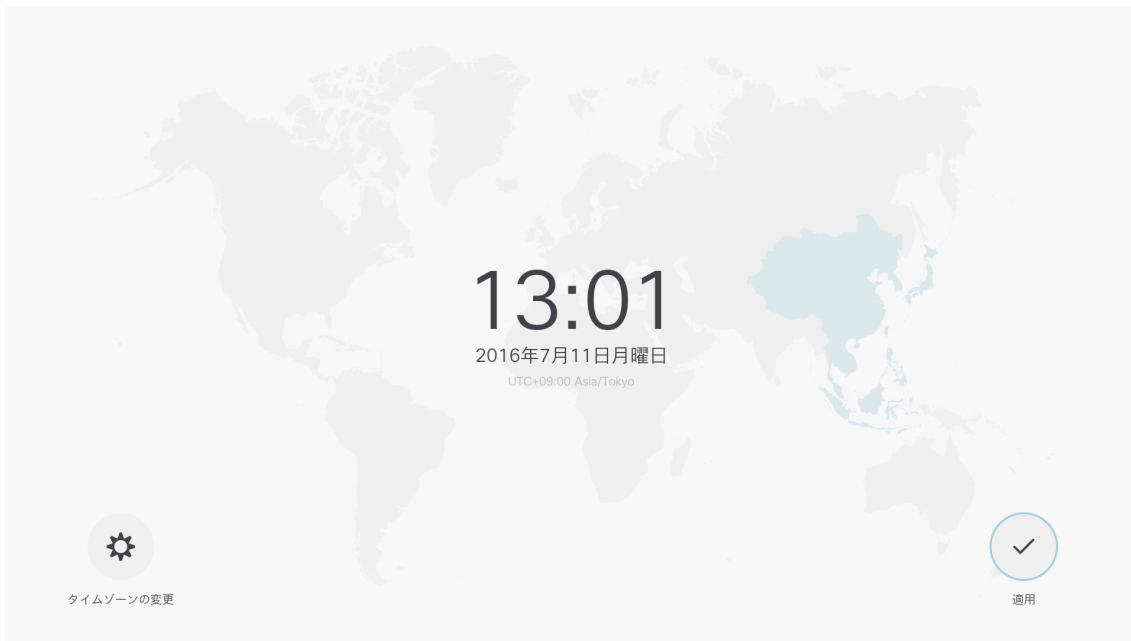
3. [Seoul, Tokyo]を選択



4. [24 時間形式]を選択



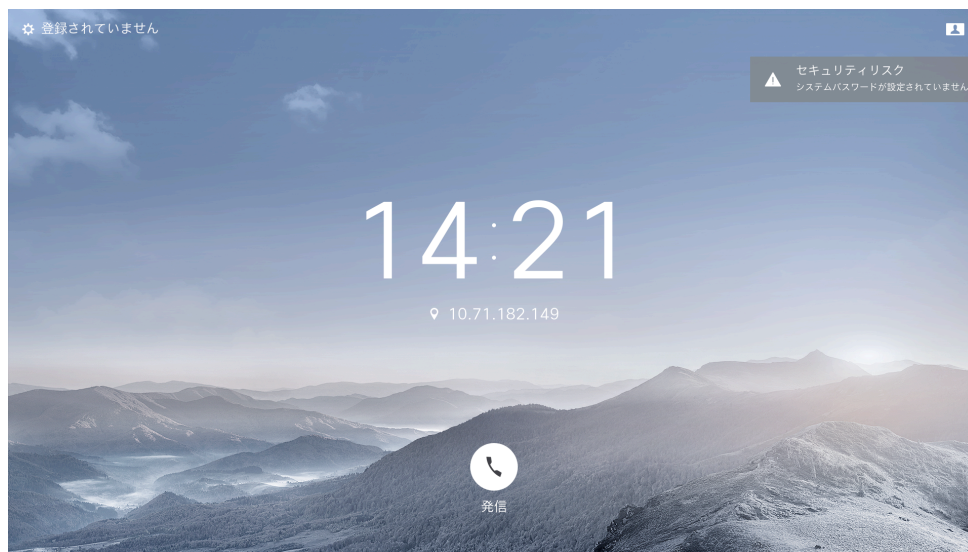
5. タイムゾーンが変更されたことを確認し[適用]を選択



6. [後で]を選択



ディスプレイに山の風景が表示されることを確認します。「登録されていません」「セキュリティ リスク」の警告が表示されます。



4 IP アドレス設定

DHCP で仮の IP アドレスを払い出している場合、端末に割り当てられた静的 IP アドレスに変更します。

1. [登録されていません]を選択
2. [システム情報]を選択
3. [設定]を選択
4. [ネットワーク設定]を選択
5. [デフォルト設定]および DHCP 自動セットアップのチェックを外し、IP アドレス、ゲートウェイ、サブネット マスクを入力

Memo: IP アドレスを入力中、リモコンの “*” を入力すると “.” に置き換えられます。

6. 必要に応じて、[DNS サーバ]を入力

ネットワーク設定

デフォルト設定(推奨)

IPv4 DNS VLAN

DNSサーバ1

DNSサーバ2

DNSサーバ3

→
適用

Memo: DNS Server は CMR Cloud に端末から直接接続する際に必要となります。

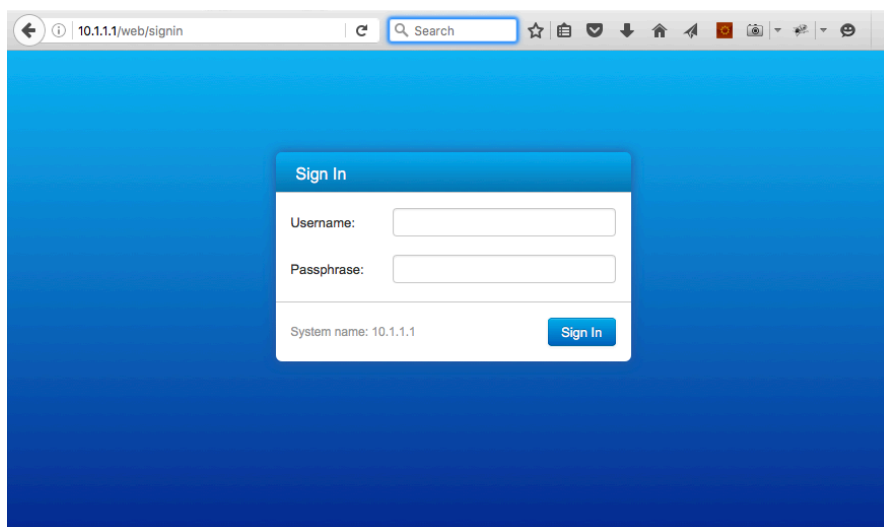
5 Web 管理画面設定

Web 管理画面から各種設定をします。

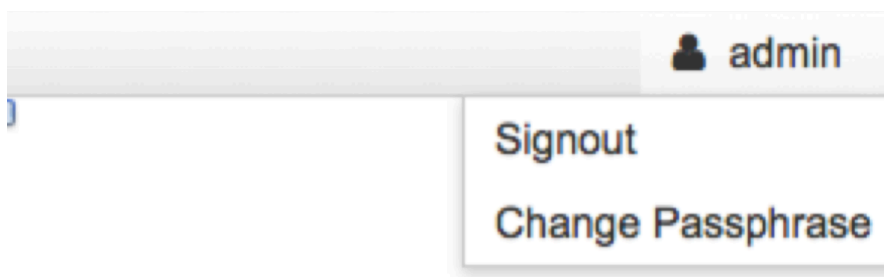
5.1 管理者パスワードの設定

Web 管理画面のパスワードを設定します。管理者ユーザ名はデフォルトの **admin** を使用します。

1. PC のブラウザから DX80 本体の IP アドレスを入力し、Web 管理画面を表示



2. [Username] に **admin** と入力
3. [Passphrase]は 空白のまま [Sign In]を選択
4. [admin]をクリックし、 [Change Passphrase]を選択



5. [Current Passphrase]を空白のままにし、 [Passphrase]および[Repeat Passphrase]に新しいパスワードを入力、最後に [Change passphrase]を選択

Change Passphrase: admin

Current passphrase

Passphrase

Repeat passphrase

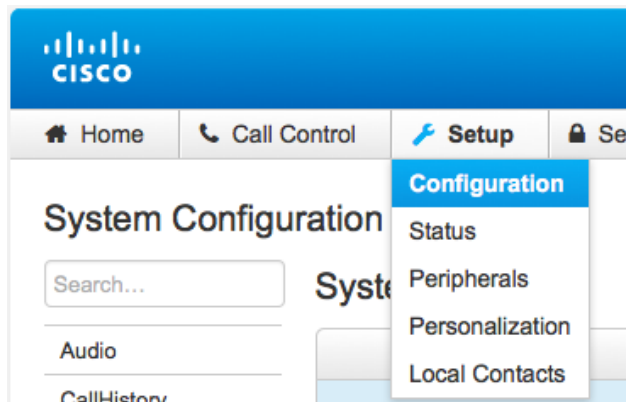
[Change passphrase](#)

Web 管理画面からサインアウトされます。ディスプレイ上から「セキュリティ リスク」の警告が消えます。

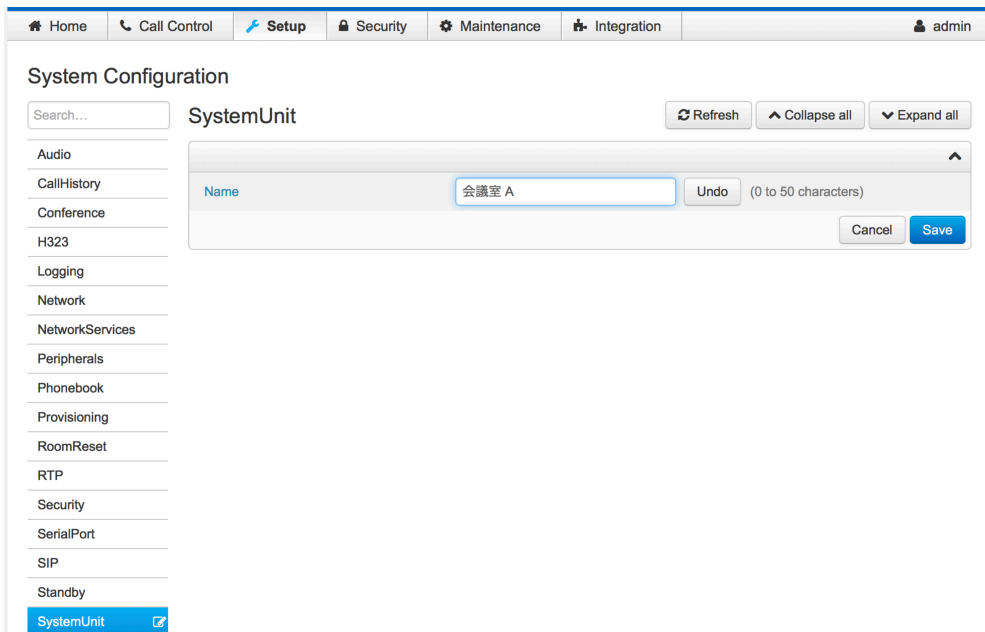
5.2 システム名の設定

システム名を設定します。本体に表示されるだけでなく、発信時に対向に表示される表示名として機能します。

1. [Username] に admin と入力
2. [Passphrase]に新規に設定したパスワードを入力
3. [Sign In]をクリック
4. [Setup] – [Configuration]を選択



5. [System Unit]を選択
6. [Name] にシステム名を入力



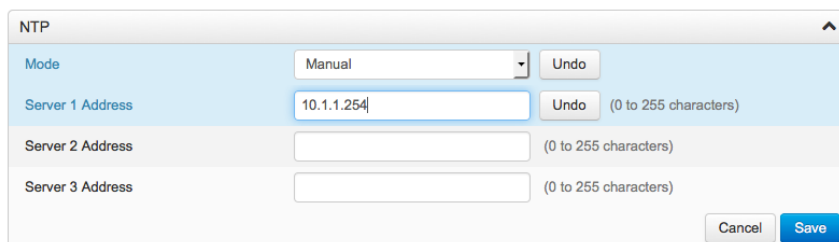
7. [Save] をクリック

Memo: モニタにシステム名が表示されます

5.3 時刻の設定

時刻関連の設定を調整します。DX80 のデフォルトでは インターネット上に置かれた NTP サーバ `0.tandberg.pool.ntp.org` を利用します。

1. [Setup] – [Configuration] を選択
2. [NetworkServices] を選択
3. NTP の設定から [Mode] を Manual に変更
4. [Server 1 Address] に NTP サーバを入力し [Save] をクリック



5. [Time] を選択
6. Time の設定から [Date Format] を YY_MM_DD に変更
7. [Save] をクリック

Time Refresh Collapse all Expand all

DateFormat	YY-MM-DD	Undo
TimeFormat	24H	
Zone	Asia/Tokyo	

Cancel Save

5.4 呼制御プロトコルの設定

H.323 プロトコルの設定を調整します。

1. [Setup] – [Configuration]を選択
2. [Conference] を選択
3. Default Call の設定から [Protocol]を H323 に変更

DefaultCall Refresh Collapse all Expand all

Protocol	H323	Undo
Rate	3072	(64 to 3072)

Cancel Save

Memo: 必要に応じて帯域幅を設定します。

4. [Save]をクリック
5. [H323] を選択
6. [CallSetup Mode]を Direct に変更
7. [Save]をクリック

H323 Refresh Collapse all Expand all

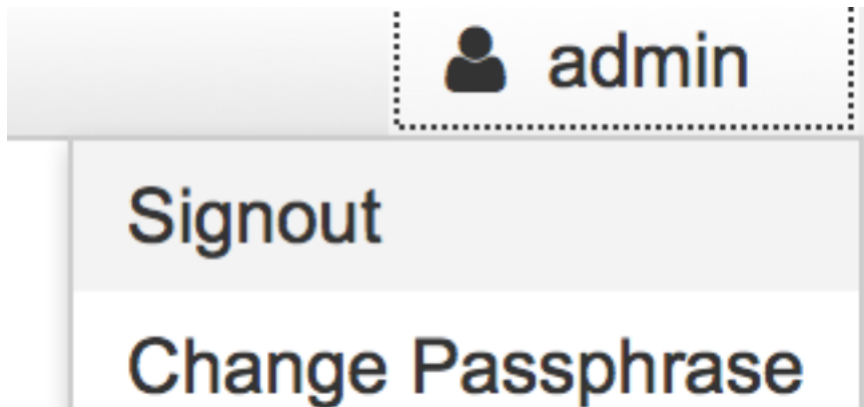
CallSetup Mode	Direct
Encryption KeySize	Max1024bit
Gatekeeper Address	(0 to 255 characters)
PortAllocation	Dynamic

8. [NetworkServices] を選択
9. [H323 Mode]を On に変更

10. [HTTP Mode]を HTTPS に変更
11. [SIP Mode]を Off に変更
12. [Save]をクリック

The screenshot shows the 'NetworkServices' configuration page. At the top right, there are buttons for 'Refresh', 'Collapse all', and 'Expand all'. The main configuration area contains several rows, each with a label and a dropdown menu. The 'HTTP Mode' dropdown is currently set to 'HTTPS' and is highlighted with a blue border. The 'SIP Mode' dropdown is set to 'Off'. Other rows include 'CDP Mode' (On), 'H323 Mode' (On), 'Telnet Mode' (Off), 'WelcomeText' (On), and 'XMLAPI Mode' (On). Each dropdown menu has an 'Undo' button next to it. At the bottom right, there are 'Cancel' and 'Save' buttons.

13. [admin]をクリックし、 [Singout]を選択

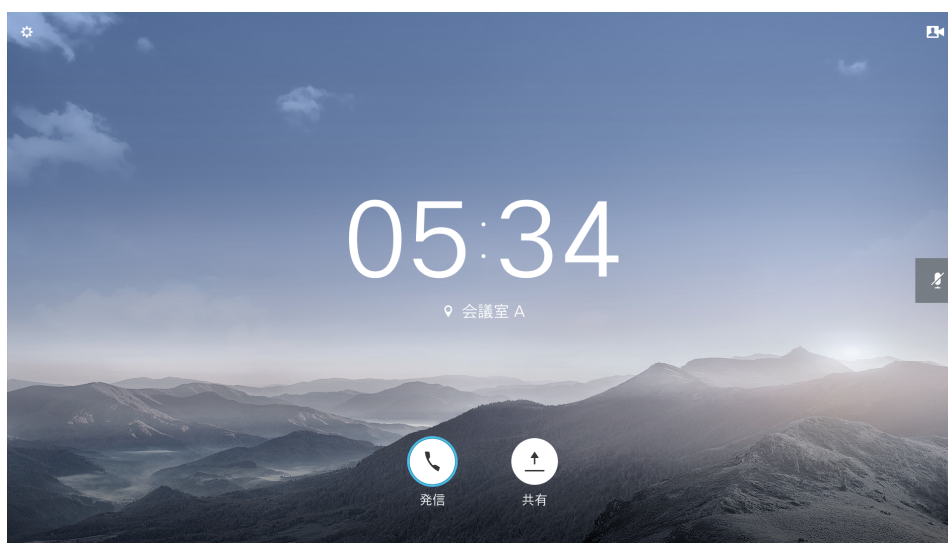


Memo: 今後、Web 管理画面にログインするには <https://IPAddress/> を利用します。証明書が変更されるため、新しい証明書を受け入れます。

5.5 ビデオ通話の確認

対向の端末がすでに設定済みの場合、ここまでの設定が正しいか実際に発信して確認します。

1 [発信]を選択



2 対向端末の IP アドレスを入力



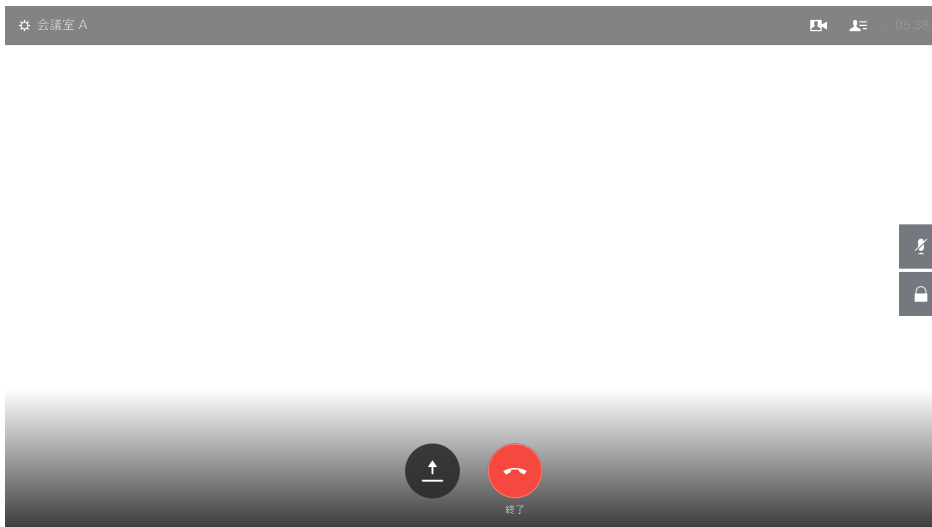
3 [発信]を選択

4 相手端末で応答しビデオ通話ができることを確認

10.1.1.2に発信中



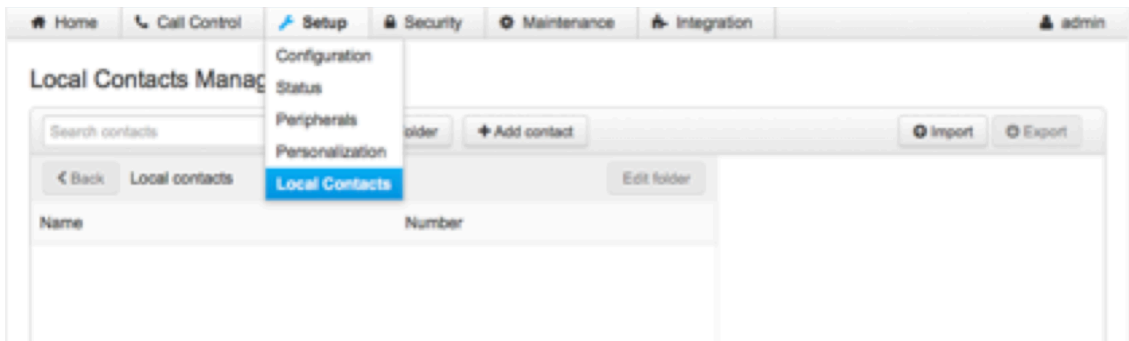
5 [終了]を選択



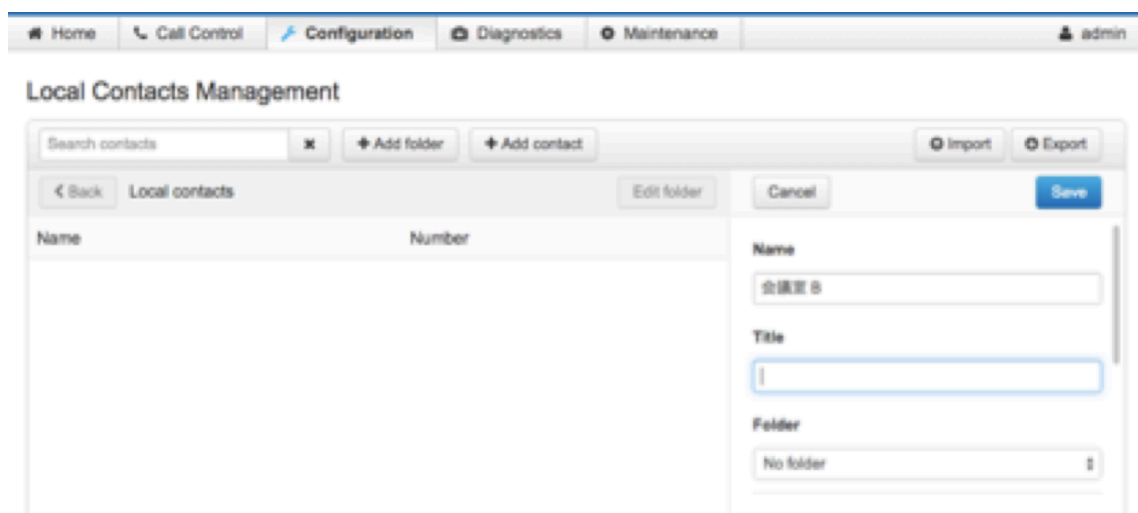
5.6 電話帳の設定

[ディレクトリ]に相手端末のシステム名と IP アドレスを登録します。これにより簡単にビデオ発信できます。

1. Web 管理画面にサイン イン
2. [Setup] – [Local Contacts]を選択



3. [Add Contact]をクリック
4. [Name] : 対向端末のシステム名を入力



5. Number: 対向の IP アドレスを入力
6. Protocol: H323 を選択
7. Deice: Video を選択
8. [Save]をクリック

Local Contacts Management

The screenshot shows the 'Local Contacts Management' interface. At the top, there is a search bar labeled 'Search contacts' with a close button (x). To its right are buttons for '+ Add folder' and '+ Add contact'. Further right are 'Import' and 'Export' buttons. Below this is a navigation bar with a '< Back' button, the text 'Local contacts', and an 'Edit folder' button. The main area is split into two panels. The left panel is a table with columns 'Name' and 'Number'. The right panel is a form for adding a contact. It includes fields for 'Name' (containing '会議室 B'), 'Title' (empty), 'Folder' (a dropdown menu set to 'No folder'), 'Contact method' (a section header with a close button x), 'Number' (10.1.1.2), 'Protocol' (a dropdown menu set to 'H323'), 'Call rate' (a dropdown menu set to 'Use default'), and 'Device' (a dropdown menu set to 'Video'). At the bottom of the form is a '+ Add contact method' button. On the far right of the form panel, there are 'Cancel' and 'Save' buttons.

9. 新しいエントリーが追加されたことを確認

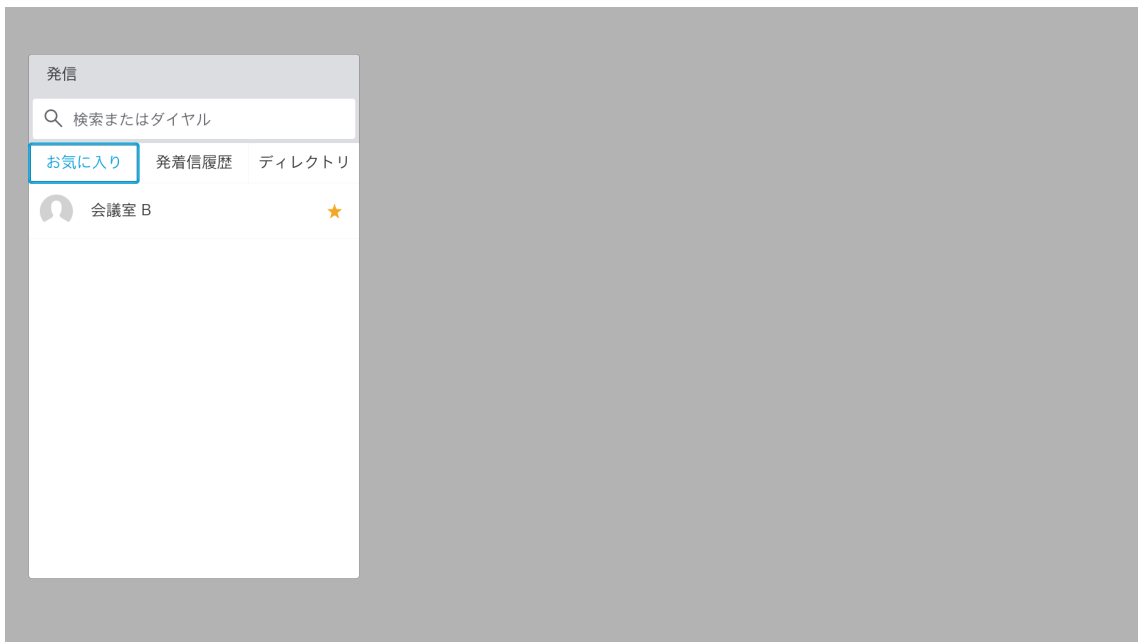
10. ☆ マークを選択し、[お気に入り]に入れる。

Local Contacts Management

The screenshot shows the 'Local Contacts Management' interface after a contact has been added. The top navigation bar is the same as in the previous screenshot. The main area is split into two panels. The left panel is a table with columns 'Name' and 'Number'. The row for '★ 会議室 B' with the number '10.1.1.2' is highlighted in blue. The right panel shows the details for the selected contact. It includes a 'Folder' field set to 'None', a 'Contact method' section header, and fields for 'Number' (10.1.1.2), 'Protocol' (H323), and 'Device' (Video). On the far right of the form panel, there is an 'Edit contact' button.

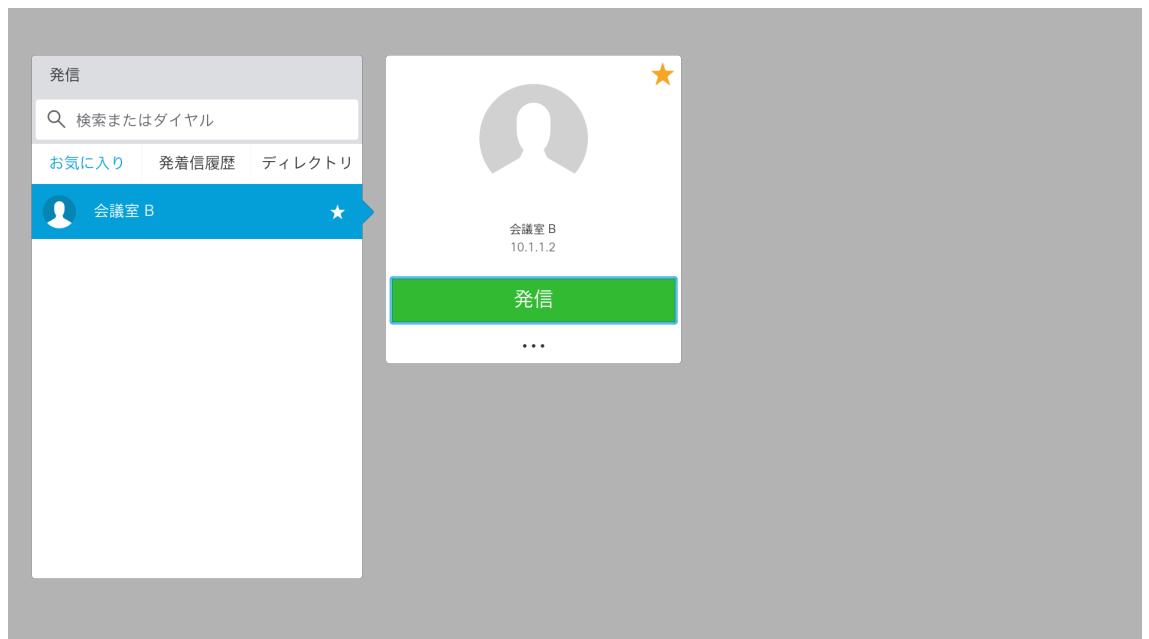
11. モニタで[発信]を選択

12. [お気に入り]をタップ



13. 新規に追加したエントリーを選択

14. [発信]をタップ



15. 相手端末で応答しビデオ通話ができることを確認

16. [終了]をタップ

以上でセットアップは完了です。

Appendix 1. Android から CE8.2 へのマイグレーション

6 Android から CE8.2 へのアップグレード（インターネット直接経由）

6.1 ファクトリーリセットを実施

6.2 DX80 をインターネットに接続

6.3 TFTP の設定

Settings > More > Tftp Server に `upgrade.cisco.com` と入力

DX80 が再起動するのを待ちます。

